

チョン・ミョンフンの血を受け継ぐ若き獅子とともに
イタリアの古都から来日



イタリア交響楽団

指揮：チョン・ミン

Orchestra Haydn di Bolzano e Trento-Italia / Cond: Min Chung

ソリスト：イヴァン・クルパン (ピアノ)
Ivan Krpan (P)
(ブゾーニ国際ピアノコンクール2017年優勝者)



モーツァルト **歌劇「フィガロの結婚」序曲**

W.A.Mozart Overture from "Le nozze di Figaro" K.492

ベートーヴェン **ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」**

L.v.Beethoven Piano Concerto No.5 in E-flat major, op.73 "Emperor"

ベートーヴェン **交響曲 第7番 イ長調 op.92**

L.v.Beethoven Symphony No.7 in A major op.92

やむを得ず曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



2019年6月6日(木) 19:00開演 (開場18:00)

ザ・シンフォニーホール

Thursday 6 June, 2019 7:00 p.m. at The Symphony Hall

料金 [全席指定] S10,000円/A8,000円/B6,000円/C4,000円 (税込)

お問い合わせ 日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545 主催：日本アーティスト/ザ・シンフォニーホール

チケットの
お求めは

06-6453-2333 <http://www.symphonycenter.jp>

ザ・シンフォニー チケットセンター (10:00~18:00 火曜定休)

チケット取扱

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード135-495) イープラス <http://eplus.jp>
ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード51357) CNプレイガイド 0570-08-9990

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

2019年1月27日(日)

チケット一般発売!
良いお席はお早めに!

イタリア交響楽団

Orchestra Haydn di Bolzano e Trento-Italia

イタリア交響楽団(正式名称:ボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団(以降、イタリア響と略)は、1960年にイタリアのトレンティーノ＝アルト・アディジェ州にイタリア政府文化省の援助で創立された。

イタリア国内の主要なホールやハイドン・フェスティバル(エステルハージ)、プレゲンツ音楽祭、アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ音楽祭(プレーシャ、ベルガモ)、モーツァルト音楽祭(ロヴェレート)、グスタフ・マーラー音楽週間(ドッピアーク)、アントニオ・ペドロッチ指揮者コンクール(トレント)、チロル・エール音楽祭やフルッチョ・ブゾーニ・ピアノコンクール(ボルツァーノ)などの著名な音楽祭等に参加。また、アメリカ、オーストリア、ドイツ、ハンガリー、オランダ、スイス等へも演奏旅行をしている。2008年、ベラゴロ・ロッシーニ・オペラ・フェスティバル公演で来日、東京と大津で演奏した。

オーケストラは、アバド、ムーティ、シャイー、インバル、ロンパール、ゼツダ、テイト、ロベス・コボス、マリナー等の著名な指揮者や有名なソリストとの共演も数多い。50年以上の歴史の中でアンドレア・マスカーニなどによる30年間の統括ののち、2003~12年、グスタフ・クーンが芸術監督に就任。2013年3月より、音楽学者のダニエレ・スピーニが芸術顧問を担い、2014年にはアルヴォ・ヴォルマーが首席指揮者に就任した。

2005~6年シーズンには、グスタフ・クーンの指揮でベートーヴェンの交響曲全曲演奏を行った。イタリア響はAgorá, Arts, col legno, cpo, Dynamic, Multigram, Naxos, RCA, Universal, VMC Classics and Zecchini等より多くの録音をリリース。またイタリア放送協会(RAI)のテレビ、ラジオ出演も数多い。



指揮: チョン・ミン *Min Chung Cond.*

ドイツのザーリュブルッヘンに生まれる。幼少の時にフランスに渡り、コントラバスやヴァイオリン、ピアノを習い音楽の基礎を固めた。その後韓国・ソウルに移り、ソウル国立大学校にてドイツ文学とヴァイオリンを専攻した。

2007年、韓国・釜山のアロイシウス・オーケストラを指揮してデビュー。このオーケストラとは2010年にカーネギーホール、2012年にはサントリーホールで比類なき大成功を収める。

日本では九州交響楽団、千葉県少年少女オーケストラ、洗足学園管弦楽団、アクロス・ユース・オーケストラ、多摩ユース・オーケストラ等と共演。

2013年10月に東京フィルハーモニー交響楽団デビュー。その後、相模原市民会館や新宿文化センターでのベートーヴェン「第九」公演や「題名のない音楽会」のテレビ放送にて共演。2015年4月より、同団のアソシエイト・コンダクターに就任。

韓国では首席指揮者としてDittoフェスティバル・オーケストラを率い、また大邱のMBCオーケストラにも登壇している。

2014年11月、ウィーン室内管弦楽団を指揮しウィーンにデビュー、称賛を浴びる。また2015年8月のボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団とのイタリア・ツアーや、2016年2月のパドヴァ・ヴェネト管弦楽団とのチャイコフスキー「交響曲第2番」の指揮など、各地で好評を博している。

チョン・ミンは、韓国国立オペラの招きでラヴェルの「子供と呪文」、プッチーニの「蝶々夫人」を指揮するなど、オペラの分野でも卓越した才能を発揮している。2013年、イタリア・レッツェのポリテアーマ・グレス

ーツ歌劇場でヴェルディの「椿姫」を指揮してヨーロッパでのデビューを大成功させ、公演直後に、次回のヴェルディ「ドン・カルロ」での再登壇が約束された。2014年5月には「ドン・カルロ」を韓国国立オペラで振り、大好評を博した。

2015年9月から2016年4月にかけて、ミラノ・スカラ座アカデミー管弦楽団と、子供用にアレンジされたモーツァルト「魔笛」を14公演指揮。若い世代に音楽の素晴らしさを伝えた功績が高く評価された。2016年8月にはマリンスキー歌劇場の「蝶々夫人」を振った。

ピアノ: イヴァン・クルパン (ブゾーニ国際ピアノコンクール2017年優勝者)

Ivan Krpan

2017年、20歳のとき権威あるブゾーニ国際コンクールにて優勝。

華々しくそのキャリアをスタートさせた。

クルパンは、1997年ザグレブの音楽一家に生まれた。

6歳のときにザグレブのブラゴイエ・ベルサ音楽学校にてピアノを始め、レナータ・ストロニン・リヒターに師事した。

2013年からザグレブ音楽院のルーベン・ダリバルタヤンの門下でピアノを学び、グレ・ドイソー(ベルギー)での第12回 若いピアニストたちの国際ランコントロールピアノコンクール(2014)、若きヴィルトゥオーゾのためのザグレブ国際コンクール(2014)、エンスヘーデ(オランダ)国際コンクール、エトリゲン国際コンクール等の国内外の多くのコンクールで第1位を獲得している。

2014年にはウルムのドナウ国際ピアノコンクールにて第2位、ザグレブ音楽院学長特別賞、第1回珠海国際モーツァルトコンクールにて第4位にも受賞。2015年、クロアチア

における当年の最も優秀な若手音楽家として、Ivo Vuljevic賞を授与される。2016年、若いピアニストのためのモスクワ・ショパンコンクールにて第3位受賞。ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団は、彼を2016年の最も優秀な若手音楽家に出した。

さらに、リヒテンシュタインで開催された国際音楽アカデミーで奨学金を受賞、音楽祭や演奏会などに招聘されている。

今後、イタリア、ドイツ、中国、韓国、日本、そして南アメリカにてコンサートが予定されている。

